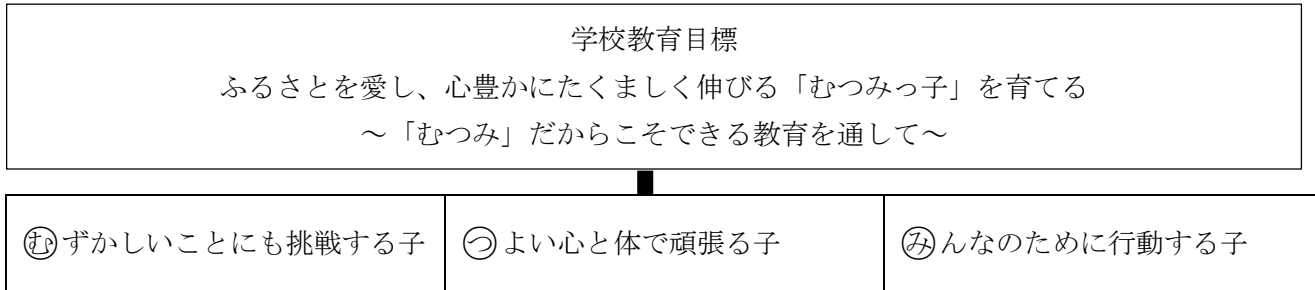
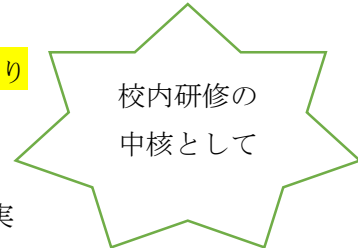


1. 研修の構想図



〈今年度の重点努力事項〉

- (1) 確かな学力づくり・「分かる」「できる」「楽しい」授業づくり
 - ・「振り返り」を子どもの言葉で確実にを行う授業づくり
 - ・「フリートーク・伝え合いの木」による表現力育成
 - ・「速読検定・ノート検定」による学力定着
 - ・スキルタイム学習とむつみっ子パワーアップの充実
- (2) 豊かな心づくり
 - ・今月の詩の朗唱「校長室すいすいチャレンジ」の実践
 - ・コミュニケーション能力の育成を目指した縦割り班活動の充実
 - ・「ありがとうの木・むつみっ子大発見」による心の育成
 - ・体験活動の充実と道徳授業の工夫
- (3) たくましい体づくりと健康安全
 - ・「腰骨タイム」の継続による良い姿勢づくり
 - ・一校一取組による体力づくりの工夫と縦割り班遊びの充実
 - ・命を大切にする安全教育・保健指導・性教育・食育指導の実践
 - ・防災防犯の危機管理意識の高揚を目指す KYT 学習の充実
- (4) 保護者・地域との効果的な連携（保小中連携を含めて）
 - ～コアスクール：農業体験学習を中核として～
 - ・3年目コミュニティ・スクールの取組の充実と協働実践
 - ・キャリア教育の充実：米・野菜作りを通して先人に学ぶ
 - ・地域貢献の意識を育てる取組の工夫と実践



本年度、本校は3・4年生が複式学級である。単式学級、複式学級が混在する年が何年か続き、完全複式への移行期である。昨年度は2つの複式学級を抱え、教師側が複式学級での学習の進め方を研修していくことが急務であると考え、『児童が主体的に学ぶ複式学級の授業づくり～考えのキャッチボールができる児童の育成を目指して～』という研修主題、副主題で研修を進めた。1年間の取り組みの中で、様々な成果があったと同時に、課題も見つかった。

成果・・・①複式に向かっているという共通理解のもと、どの学年でも取り組まなければならないという意識が出た。

②児童の学ぶ意欲、表現力が伸びた。

課題・・・①研修主題・副主題の見直しが必要である。→全校で一丸となって取り組めるもの

②授業に対する教師の準備が大切である。

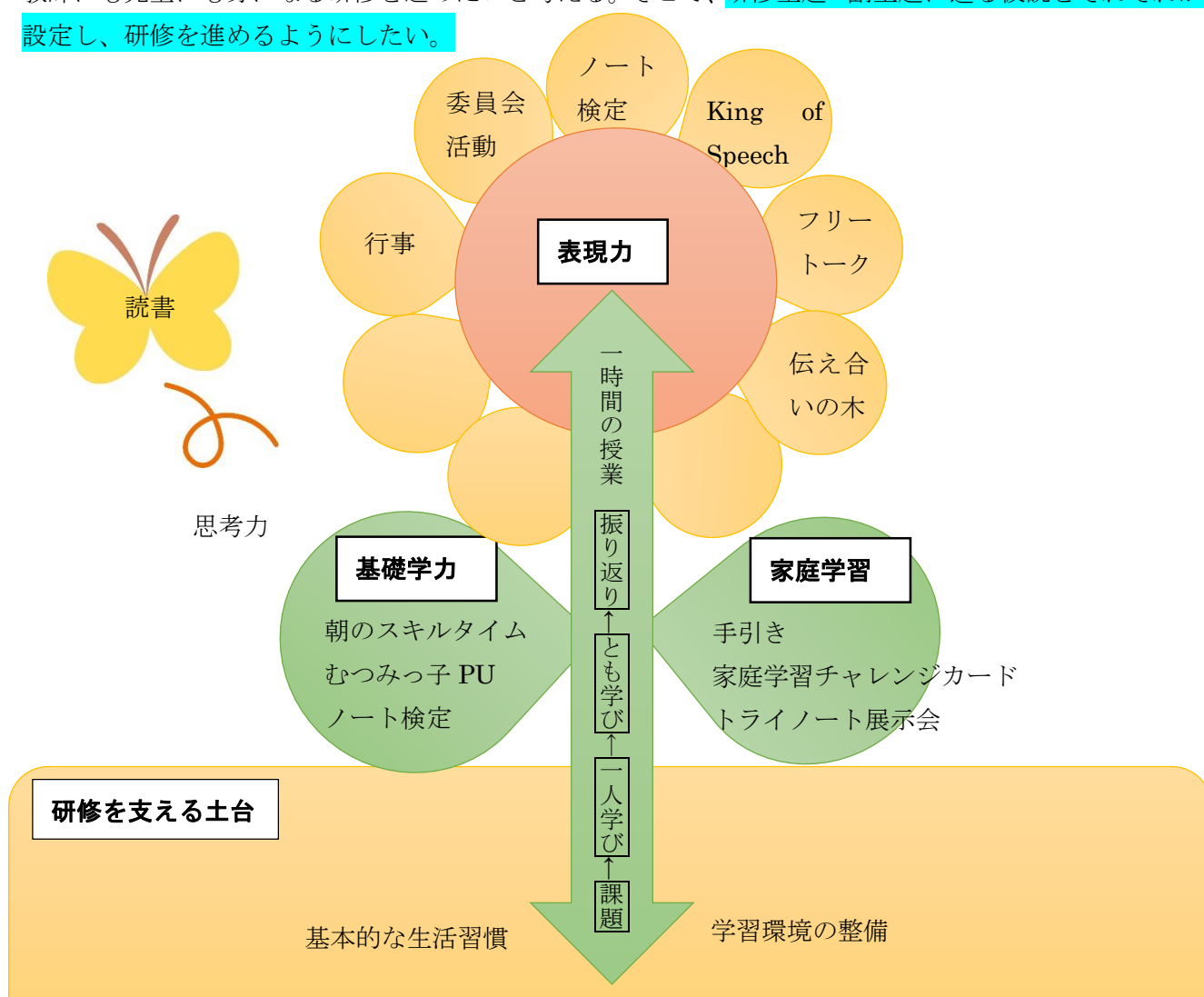
③「考えのキャッチボール」を更に伸ばしていく必要がある。→表現力

以上のことから、本年度は以下のような研修主題・副主題で校内研修を進めていきたいと考える。

主体的に学ぶ児童の育成

～表現力を磨く授業づくり～

今年度は複式学級は1クラスであるが、31年度には完全複式になる。文言にこそ「複式」という言葉はないが、複式学級を見据えて、授業を通して個々の表現力を磨き、主体的に学ぶ児童を育成していく必要があるだろう。また今年度は、経験豊富な教員や他県での経験がある教員、特別支援教育に精通する教員、そして単学級、複式学級と、人材や場が豊富である。各々の持ち味を生かし、各学級の実態に応じた、教師にも児童にも身になる研修を進めたいと考える。そこで、研修主題・副主題に迫る仮説をそれぞれが設定し、研修を進めるようにしたい。



主体的に学ぶ児童の育成

～表現力を磨く授業づくり～

(仮説)

- ・課題
- ・一人学び
- ・とも学び
- ・振り返り

に対して、ブロックごとに仮説を考える。(具体的な手立てを。)

2. 研修を支える土台 (提案済み)

①基本的な生活習慣

- ・正しい姿勢「腰骨を立てる」・・・毎日1時間目が始まる前に、実践。

※詳しくは岸先生より提案済み。

- ・チャレンジカード・・・生徒指導より提案。
- ・忘れ物をなくす・・・中学校も見据えて。

②学習環境の整備【全校で共通理解、徹底指導】

①筆箱の中身

鉛筆5～6本(低学年はB～2B、高学年はB～HB)
赤鉛筆
青鉛筆
よく消える消しゴム(おもちゃ消しゴムでないもの)
ミニ定規
名前ペン

※中・高学年は、上記+必要に応じてボールペン(赤・青)またはサインペン(赤・青)

※社会見学するとき、または校外学習のときは、シャープペンシルも可。

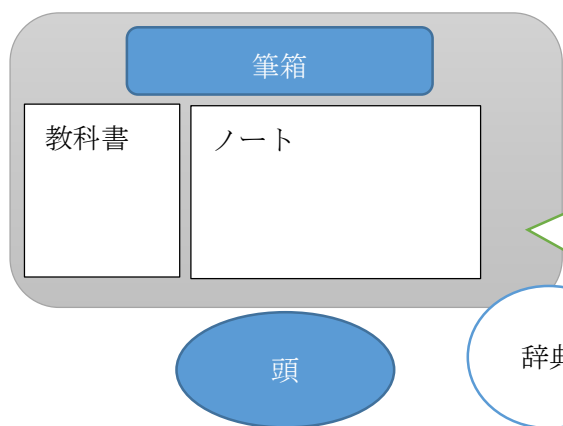
※算数の図形を書くときなど固く細い線が必要な場合はシャープペンシルなど担任の判断で。

→シャープペンシルは禁止。学校に持ってこない。

※たくさんのペンがあって、探すのに時間がかかる場合もあるので、少ない数で本人が把握、整頓できるようにさせる。

※鉛筆は毎日削ってくるように指導する。

②机の使い方



- 学習に必要なものだけを置かせる。
- 国語辞典を常に机上に置き、いつでも意味を調べることができるようにする。
(必要に応じて、サイドテーブルの使用も。)
- おへその前にノート(記述ページ)がくるようにする。
- 必ず、下敷きを入れさせる。

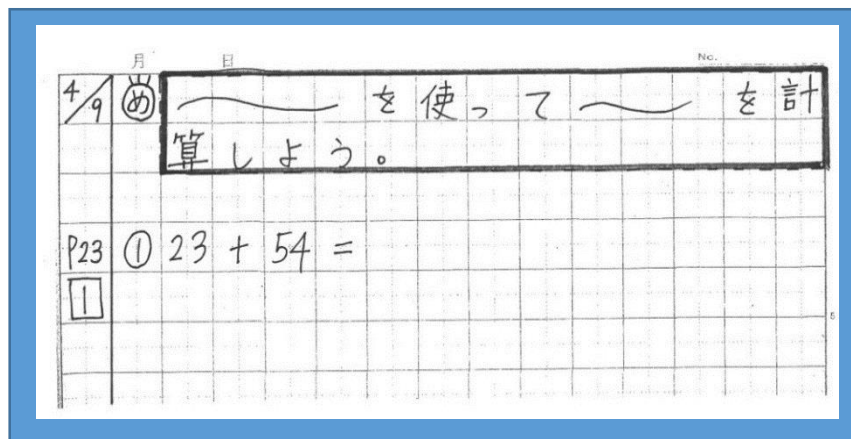
③号令のかけ方

「姿勢、今から○時間目の学習を始めます。礼、お願いします。」

「姿勢、これで○時間目の学習を終わります。礼、ありがとうございました。」 ※腰骨、手足、目

④ノートの使い方

- (1) ノートの左1行目に縦線を引く。
- (2) 縦線の左側に、日付、教科書のページ、問題番号などを書く。
- (3) めあて、まとめは鉛筆で書き、赤鉛筆でわく囲みする。
- (4) 線は必ず定規で引く。



⑤チョークの色とノートの対応

- めあて、まとめ →白チョークで書いたものを、赤で囲む。⇒ノートも同じ
 - 大切なこと →黄色のチョークを使用。⇒ノートは赤鉛筆
 - 黄色と色分けしたい場合 →赤色のチョークを使用。⇒ノートは青鉛筆
- ※ それ以外は必要に応じて使用する。

⑥萩市重点取組事項チェックリストの徹底

- 授業のねらいを明確に
- 一人学びの時間をとる
- 子ども同士でかかわり合う時間をとる
- まとめの時間をとる
- 定着の時間をとる
- 授業評価を行う・・・市教委から提案あり？なければ、単元ごとに行う。

めあて：しっかりつかむ
一人学び：つくろう！自分の考え
とも学び：広げよう！みんなの考え
まとめ：これでバッチリ！！

各教室に同じカードを配置し、今何を行う時間なのかを子どもたち自身が分かるようにする。

③その他

①基礎学力の育成

- むつまじ子 PU ※ 別紙参照 ①
- 朝のスキルタイム ※ 別紙参照 ②
- ノート検定の実施 ※ 検討中

②表現力の育成

- 朝のスキルタイム「お話タイム」の充実 ※ 別紙参照 ③
- 伝え合いの木 ※ 別紙参照 ②

③家庭学習の充実

- 家庭学習の手引き ※ 別紙参照 ③
- トライノートの手引き ※ 別紙参照 ④
- 家庭学習がんばりカード ※ 別紙参照 ⑤

3. 研修組織

校長

研修推進委員会（校長・教頭・教務主任・研修主任） ※研究の進め方や研究内容等を協議する。

研修職員会、校内支援委員会※児童理解を推進するため、教育的支援の必要な児童を把握し、個に応じた支援のあり方を検討する。

各学級担任、栄養教諭、養護教諭

4. 研修計画

①講師招聘の授業研究は、低学年・中学年・高学年の計3回。その他の教員は公開授業を行う。

→公開授業に関しては、2学期終了までに終わるようにする。授業研究を行う大まかな学期、月を次回の校内研修までに決めて頂きたい。

②研究授業、公開授業ともに総案を作成する。→指導案の様式は後日提案。

③全体での指導案検討の前に、グループで検討会を開き、授業準備を行う。

（低）1年、2年 （中）3・4年、教頭、（ひまわり） （高）5年、6年、ひまわり

④公開授業後はミニ研修会（放課後）を行う。

